

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考					
				指標	目標値	実績値	指標	目標値	実績値		自己評価	目標達成度	満足度	補足	目標①	目標②						
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員等が小規模零細企業を中心とした事業所の経営指導や支援などを実施。コロナ関連相談、融資等の金融相談、従業員や企業規則等の労務相談、申告時期の税務相談など、経営全般について様々な相談への対応をすることにより健全な企業の育成と伴走支援を図る。窓口指導についても、今まで以上に門戸を広げ、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 219企業 (内、非会員8企業/創業3企業) ・巡回窓口指導延件数 892件 (内、非会員20件/創業8件) ・課題解決提案件数29件 ・経営革新承認件数0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 148.7 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 145.0 %)	巡回窓口業務およびセミナーや公式LINE等を通じて、各種制度の情報提供を図ることで、小規模事業者の多様化する課題やニーズに対してワンストップで対応。積極的に経営に取り組む小規模事業者の掘り起こしを図り、伴走支援による課題解決へと繋げることができた。その他、物価高騰、賃上げ、インボイス制度の導入、価格転嫁など事業環境の変化への対応、事業承継相談など、小規模事業者が直面している急激な経営環境の変化への相談対応および支援により、会員満足度の向上が図られた。	総合評価	A	自己評価	A	目標達成度	A	満足度	B	補足	現行どおり	現行どおり	事業環境の変化に関連する補助金や助成金等の施策活用が相対的に増加しているが、オンライン申請への対応や複雑化する申請書類の作成など支援機関のサポートが不足している現状がある。次年度も引き続き事業者の事業遂行に向けた伴走支援を図りたい。また、会員減少の防止をかけるべく、事業承継相談および創業支援を重点課題として巡回窓口相談の対応したい。		
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算等の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を支援する。	事業を進めていく上で、日々の記帳の重要性について理解していただくとともに、決算・申告に結びつく指導を行った。 指導対象事業者数 79件 指導日数 678日 指導回数 729回	小規模事業者	指標	指導対象事業者数 (達成度 97.5 %)	指標	(達成度 %)	年間を通しての記帳指導と源泉・年調・決算申告の指導を通じ、申告納税制度への理解と正しい記帳による正しい申告の重要性を認識してもらえた。また、e-Taxによる電子申告も多くの事業主がその利便性を認識し、理解が深められた。	総合評価	A	自己評価	B	目標達成度	B	満足度	A	補足	下げる	実施方法①	実施方法②	自主申告納税制度への理解を深め、正しい記帳・申告を推進し、経営力の向上を支援していく。	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営・金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会及び個別指導会を開催する。	集団経営一般 6回 55人 個別経営一般 1回 1人 金融 1回 1人 税務 17回 114人	小規模事業者	指標	講習会参加者数 (達成度 101.8 %)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の経営等に於いて、必要とされる事項を開催することができ、受講者の資質の向上を図ることができた。個別指導では専門家より指導を受けられ課題解決へと繋がり、経営計画に前向きな姿勢をとれるようになった。	総合評価	A	自己評価	A	目標達成度	A	満足度	A	補足	上げる	実施方法①	実施方法②	適宜ニーズにあった内容及び時期を思案し開催する。	
地域振興事業（貝づくし渥美事業）	渥美半島の観光資源を活かした物産品開発や観光サービスについて調査・研究・開発を行った結果、渥美の観光食材づくりの位置づけとして、「貝」を取り上げ、平成21年2月14日を皮切りに「貝づくし渥美」をスタート。内容は、渥美地区全域に「貝」を浸透させ、「貝づくし渥美」を根付かせ、観光客へ「貝づくし渥美」をPRし活気ある観光地への位置づけを目的とする。	協力店全体会議等10回 4月8日貝の日の実施 48キャンペーン応募受付(11/1~11/30デジタル応募) デジタルスタンプラリーの実施(1/13~3/31) 地域資源を活用した特産品開発(魚貝の押し寿司・大あさり半平太) 渥美半島菜の花まつり協賛参加 田原市まちづくり市民会議への参加	飲食店、宿泊施設を中心とした商工業者	指標	加入件数及び構成員数 (達成度 113.3 %)	指標	(達成度 %)	地域資源である貝類が減少している状況を鑑み、三方を海に囲まれている渥美半島を活かして「魚」としてもPRすることで地域を活性化させる道筋を確立することができた。また、スタンプラリーの実施により、普段来店されない観光客等の集客成果が得られ参加店舗の経営意欲の向上を図ることができた。	総合評価	B	自己評価	B	目標達成度	A	満足度	C	補足	深刻な貝の漁獲量減少に対してどのような形で貝と向き合っていくべきか検討し、次に繋げる形を形成することができた。	上げる	実施方法①	実施方法②	海で捕れる「貝」から海で捕れる「魚貝」へとPRする地域資源を拡大することで、事業参加件数を増やし渥美半島を盛り上げていく。その為、事業名を地域振興事業（観光事業委員会魚貝づくし部会事業）とする。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考				
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①		目標②			
商工業振興事業（ポイントカード等推進事業）	ポイントカード事業の推進により、顧客確保、商圏内からの購買力の流出防止や大型店対策を図り、商工業者の発展及び地域産業の活性化を図る。	販売促進並びに消費者サービスを目的として、カード事業の宣伝活動及び共同売出し、キャッシュレス現金チャージ等のイベントを開催。 折込チラシ13回、販売促進イベント回数 24回	事業加盟店	指標	販売促進イベント回数 （達成度 120.0 %）		指標	（達成度 %）		隣接する地域のカード事業と共同でイベントや店舗情報を消費者へアピールすることによるスケールメリットを感じられ、新規顧客の確保・購買力の流出防止に繋げることができた。 キャッシュレス決済の利便性が徐々に浸透し、加盟店利用者が増えてきた。						総合評価	B	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への
人材育成事業（外国人実習生受入事業）	外国人技能実習生受入企業の活性化と国際貢献を目的として、外国から意欲ある優秀な若者を受け入れ、わが国の優れた「技術・技能・知識」を職場で実際に作業をしながら習得し、帰国後に母国の産業振興に寄与できる人材の育成を図る。	新規受入人数 4人 企業巡回12回 技能検定試験の実施	渥美商工会会員	指標	技能実習生新規受入人数 （達成度 100.0 %）		指標	（達成度 %）		小規模事業者の慢性的な人材不足が、技能実習生の受け入れを行うことで安定的な人材を確保し生産活動を維持継続が可能となっている。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新たな受け入れ企業の発掘に努める。
青年部事業	青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	研修会およびコミュニティ活動の開催、及び地域活性化事業等の本会事業への参加。 また、随時、常任委員会を開催。 青年部事業回数 55回	青年部員	指標	事業の開催回数 （達成度 137.5 %）		指標	（達成度 %）		青年部事業を通して、地域リーダーの後継者を育成し、同世代の仲間との交流や各種事業実施の経験を過程において自分を磨き、企業及び地域の後継者としての知識の習得や人格形成ができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	部員の年齢卒業等で部員数は減少傾向にある。部員による声掛け、新入会員候補者を青年部事業に招待する等、会員増強に繋げる。また令和6年度は役員が新体制になるため、新規事業を企画・開催し、青年部員資質の向上を図る。
女性部事業	女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	コミュニティ活動の開催、及び視察研修等の企画、立案等。また、随時、常任委員会を開催。 女性部事業回数 18回	女性部員	指標	事業の開催回数 （達成度 90.0 %）		指標	（達成度 %）		経営への参画、経営に必要な知識の習得の他、各種事業等への企画・立案を通じて他業種間の交流と自己啓発が図られた。	総合評価	C	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	部員の高齢化と事業の廃業等による部員数は減少傾向にある。魅力ある企画と事業を充実させ部員増強に繋げたい。
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	B	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	B	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	C	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	B	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	
				指標	（達成度 %）		指標	（達成度 %）			総合評価	C	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考						
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等					
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	算定基礎賃金報告書に基づき労働保険料の申告・納付（3期）。労働保険に関する各種届出の事務手続。巡回・窓口指導など従業員把握とともに、加入促進。 委託事業所数 51件	従業員を雇用している商工業者	指標	委託事業所数 (達成度 98.1 %)			指標	達成度 %			労働保険料の納入を始め、各種事務手続を代行することで、商工業者の事務の負担軽減が図れた。また、労働保険相談窓口として対応でき、企業の適正な労働保険業務に繋がった。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新規加入もあるが、廃業や労働者不在による委託解除が多かった。純増を目指して事務組合制度のPRを継続的にすることで、労働保険加入者の掘り起こしをして事務組合への加入促進を図りたい。
				実績値	52	実績値	51	目標値	実績値	目標値	実績値				B		B		必要性	下げる	
税務関係団体指導事業（法人会事業）	法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	法人会本部及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。 本部事業 15回 本部事業研修会 1回 支部事業 5回 支部事業 研修会 1回 支部事業 社会貢献事業 1回	法人会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 115.0 %)			指標	達成度 %			支部事業を実施することで、地元経営者への税務の啓発を図った。その他にセミナーの開催、管内の小学校新一年生への「れんらくちょう」を配布し、法人会活動のPRを図った。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	加入メリットのPR強化を図り会員増強を目指したい。また、会員に向けた税の啓発を図る事業や社会貢献事業を実施していく。
				実績値	20	実績値	23	目標値	実績値	目標値	実績値				A		B		必要性	現行どおり	
税務関係団体指導事業（青申会事業）	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	源泉徴収事務、年末調整事務、決算・確定申告事務の指導会、税務研修会を開催。連合会及び関係団体との情報交換や連携を密にし組織強化を図った。 役員会等 5回 講習会 1回 税務指導会 17回 管内事業への出席 11回 関係団体への出席 4回	青色申告会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 126.7 %)			指標	達成度 %			所得税を中心とした、源泉や年末調整、決算書作成及び消費税等、年間をとおしての指導会の開催により会員の方の税知識の向上を図るとともに、実際の申告等の業務においても円滑な処理を行うことが出来た。	総合評価 A	事業評価 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	自主記帳・申告納税が浸透してきたが、青色申告のメリットである65万円控除の要因となる複式帳簿を作成している会員が少ない。会計ソフト等を利用した複式帳簿作成を推進し、会員の記帳能力向上に努めたい。
				実績値	30	実績値	38	目標値	実績値	目標値	実績値				A		A		必要性	現行どおり	
若手後継者等育成事業	若手後継者である青年部員が、地域経済の発展（マクロ）と小規模事業者の持続的な発展（ミクロ）の両面から、その課題解決に向けた取り組みを行うことで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を目的とする。	・鳥羽伊良湖観光交流事業（友情クイズ） 第1回：応募期間 7月16日～10月31日 応募数：797通 第2回：応募期間 12月17日～3月17日 応募数：548通 ・鳥羽伊良湖アゲアゲ超感謝祭 開催日：3月16日（土） 食べ比べ参加券数：925枚 ・事業承継セミナー 開催日：11月1日（水） 参加人数：13人	一般参加者 小規模事業者	指標	友情クイズ応募者数 (達成度 1345.0 %)			指標	事業承継セミナー参加者数 (達成度 86.7 %)			広域的な連携を行うことで、田原市の魅力的な地域資源をより広くPRし、地元客はもちろん、観光客の取り込みができた。青年部員が地域経済の問題に対し常に意識を持つ感覚を養い、解決に向けた経験を得ることで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を図ることができた。	総合評価 B	事業評価 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	鳥羽伊良湖航路で繋がっている鳥羽市、鳥羽商工会議所青年部との交流を再構築し、交通機関である伊勢湾フェリー乗船客の増加を目的とした企画を実施する。新事業やお祭りイベントの実施を再考し、持続的に実施可能な企画を考えていきたい。
				実績値	100	実績値	1345	目標値	実績値	目標値	実績値				A		B		必要性	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。